



# Oracle Cloud 無料トライアル サインアップ ガイド

2023年 6月

日本オラクル株式会社

## はじめに

Oracle Cloud FreeTier アカウントを取得してサインインする手順について説明します。

Oracle Cloud Free Tier では、Oracle Cloud アカウントにサインアップすると、多くの Always Free サービスと、対象となるすべての Oracle Cloud Infrastructure サービスで最大 30 日間使用できる 300 米ドルの無料クレジットが提供される無料トライアルをご利用いただけます。Always Free サービスには、利用期間の制限はありません。無料トライアルのサービスは、300ドルの無料クレジットが消費されるか、30 日が経過するまでのいずれか早い方まで使用できます。

### Oracle Cloud Free Tierの内容

#### Always Freeクラウド・サービス

期間の制限なく使用できるサービスです。

- Oracle APEX、Oracle SQL Developerなど、強力なツールを実装する2つのOracle Autonomous Database
- 2つのAMD Compute VM
- 最大4インスタンスのArm Ampere A1 Computeを1か月あたり3,000 OCPU時間と18,000GB時間で使用可能
- ブロック・ストレージ、オブジェクト・ストレージ、アーカイブ・ストレージ、ロード・バランサおよびデータ・エグレス、監視と通知

対象となるサービスのリストについては、[以下を参照してください](#)

+

#### 30日間無料トライアル

300米ドルの無料クレジット。

- データベース、アナリティクス、コンピューティング、Container Engine for Kubernetesなど、幅広いOracle Cloudサービスへの30日間にわたるアクセス
- 利用可能なすべてのサービスで最大8つのインスタンス
- 最大5 TBのストレージ

対象となるサービスのリストについては、[以下を参照してください](#)

## 必要なもの

- 有効なメールアドレス
- クレジットカード(プリペイドカードは不可)
- MFA モバイルアプリケーション

## STEP 1:無料トライアルアカウント作成

すでにクラウドアカウントをお持ちの場合は、STEP 2に進んでください。

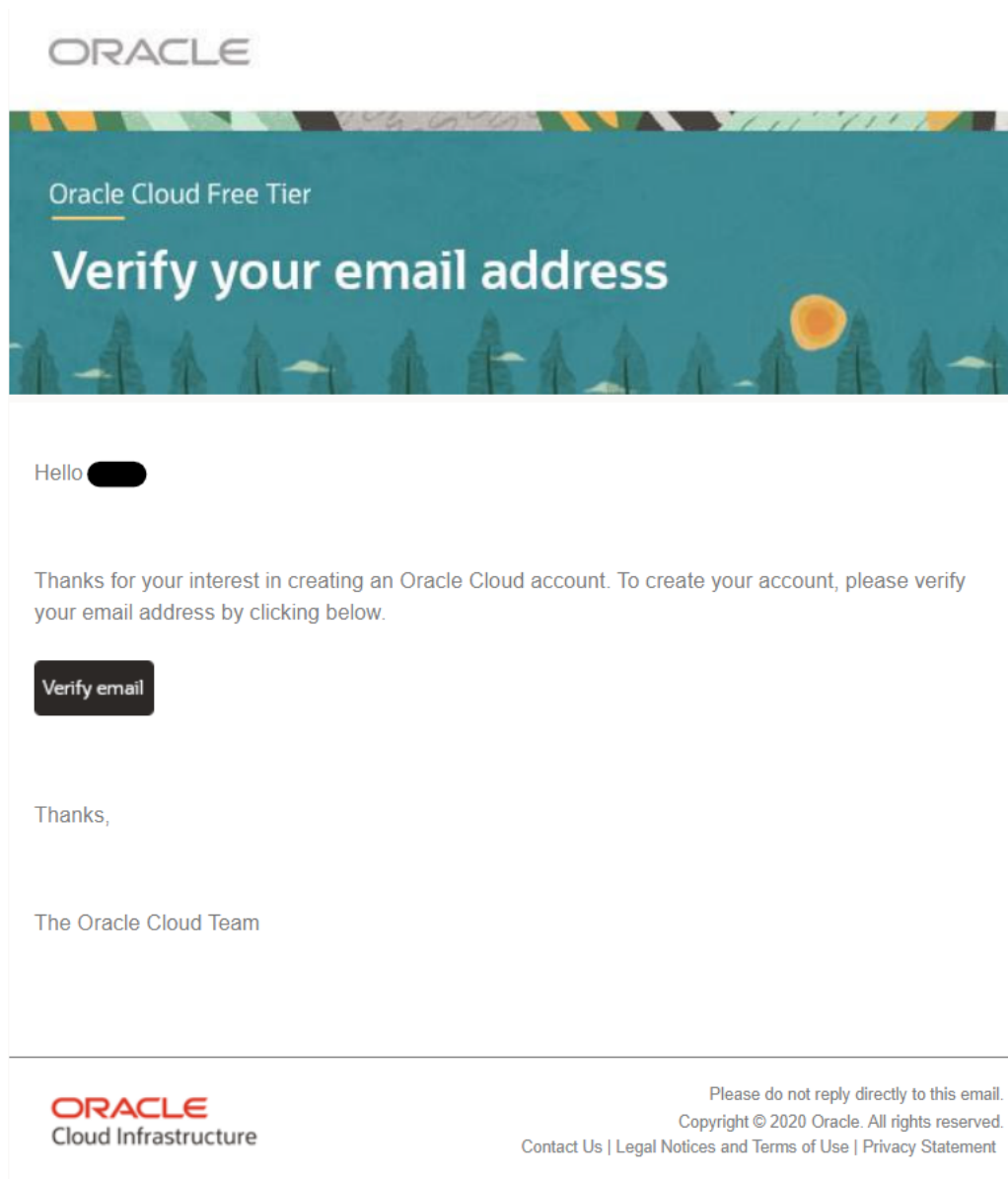
1. Web ブラウザを開いて、<https://signup.oraclecloud.com/>にある OracleCloud アカウント登録フォームにアクセスします。

*注:これは無料のクレジットプロモーションアカウントです。アカウントのアップグレードを選択しない限り、請求は発生しません。*

2. 登録ページが表示されます。

3. 次の情報を入力して、Oracle Cloud FreeTier アカウントを作成します。
  - ・ 国/地域 : 日本
  - ・ 名 : 漢字
  - ・ 姓 : 漢字
  - ・ 電子メール : (このメールアドレスがユーザー名になります)
4. 「私は人間です」ボタンをクリックし、hCaptcha ダイアログの手順に従ってサインアップを確認します。
5. 「電子メールの検証」をクリックします。30 分間有効な検証リンクが、電子メール・アドレスに送信されます。

6. あなたの電子メールの受信トレイに Oracle からのアカウント検証メールが表示されます。メールは次のようになります。



7. Verify email を選択してリンクを開きます。

8. 次の情報を入力して、Oracle Cloud FreeTier アカウントを作成します。

- ・ **別名** : 英字で氏名を入力します
  - ・ **パスワード** : 小文字、大文字、数字、特殊文字を 1 文字ずつ含めた 8 文字以上
  - ・ **Customer type** : Corporate(企業利用) or Individual(個人利用)
  - ・ **会社名** : 会社名または組織名を入力
  - ・ **Alternate English Legal Company Name** : 代替会社名を英語で入力 ("Co., Ltd." など含めます)
  - ・ **部門名** : 日本語(例: 技術部門)
  - ・ **クラウド・アカウント名** : 任意(デフォルトではメールアドレスの@以前まで)
  - ・ **ホームリージョン** : 任意(日本は東京リージョンと大阪リージョンがあります)
- 「使用条件」を確認して「続行」をクリックします。

アカウント情報

国/地域  
日本

名

姓

別名

電子メール

パスワード  
stronger

パスワードの確認

パスワードが一致しました

Customer type  
☒ Corporate ☐ Individual

会社名  
会社名の値が必要です。

Alternate English Legal Company Name  
Alternate English Legal Company Nameの値が必要です。

部門名 役職  
部門名の値が必要です。 オプション

クラウド・アカウント名

ホーム・リージョン  
Japan East (Tokyo)

これは、コンソールにサインインしたときに会社または組織の環境に割り当てられます。後でコンソールからいつでも名前変更できます。

ホーム・リージョンとは、アカウントおよびアイデンティティ・リソースが作成される地理的位置です。サインアップ後は変更できません。サービスの可用性については、「リージョン」を参照してください。

韓国中部(ソウル)と日本東部(東京)でのArm Ampere A1 Computeの容量に対する需要は大きい。これらのリージョンにおけるA1インスタンスの可用性は制限されます。A1インスタンスを作成する場合は、ホーム・リージョンとして別のリージョンを選択することをお勧めします。

9. 住所情報を入力してください。

- ・ **住所行 1** : 英字で入力します(変換サービスなどを使って入力することを推奨します。例: <https://kimini.jp/>)
  - ・ **市区町村** : プルダウンから選択(例: TOKYO)
  - ・ **郵便番号** : 7桁の数字 XXX-XXXX(ハイフンも入力)
  - ・ **電話番号** : +81 xx xxxx xxxx (070 などから始まる番号の最初の 0 は省いて 70 から入力、ハイフン不要)  
例: 07012345678 → +81 7012345678
- 「続行」をクリックします。

住所情報



住所行1  
住所を入力

住所行1の値が必要です。

住所行2

オプション

住所行3

オプション

市区町村

市区町村の値が必要です。

都道府県  
TOKYO



郵便番号

電話番号  
+81

市外プリフィクス/コードは、携帯電話番号の入力時には使用しません(\*0\*123...や\*1\*123...ではなく123...のみ使用します)。空白や特殊文字を含めず番号を入力してください。

有効な電話番号を入力してください。アカウントについて確認が必要な場合、オラクル社はお客様と直接会話することがあるため、テキスト専用のモバイル番号は使用できません。

続行



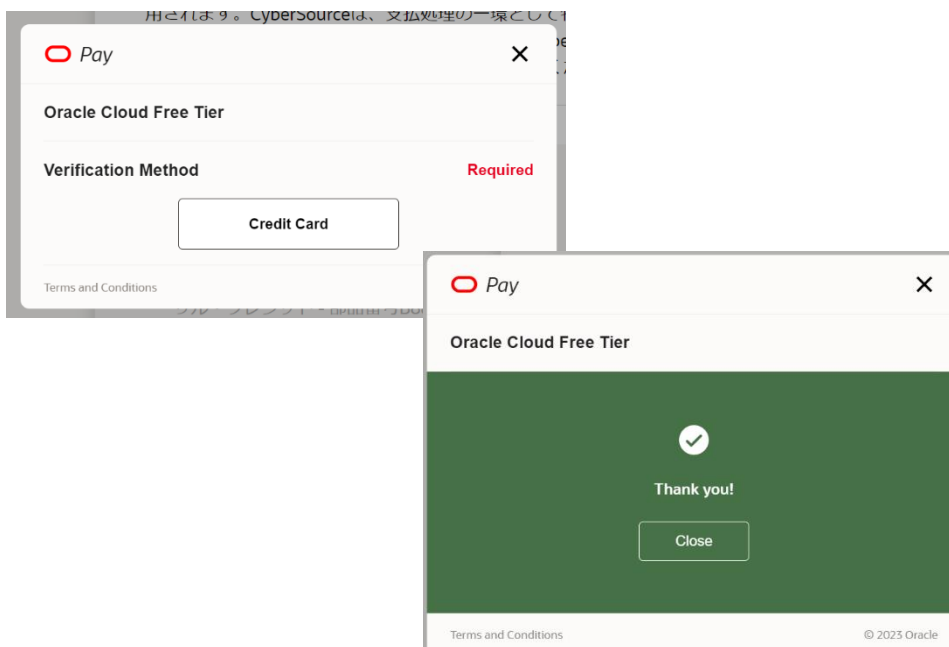
10. 支払検証方法の追加ボタンをクリックします。

**注:これは無料のクレジットプロモーションアカウントです。アカウントのアップグレードを選択しない限り、請求は発生しません。**



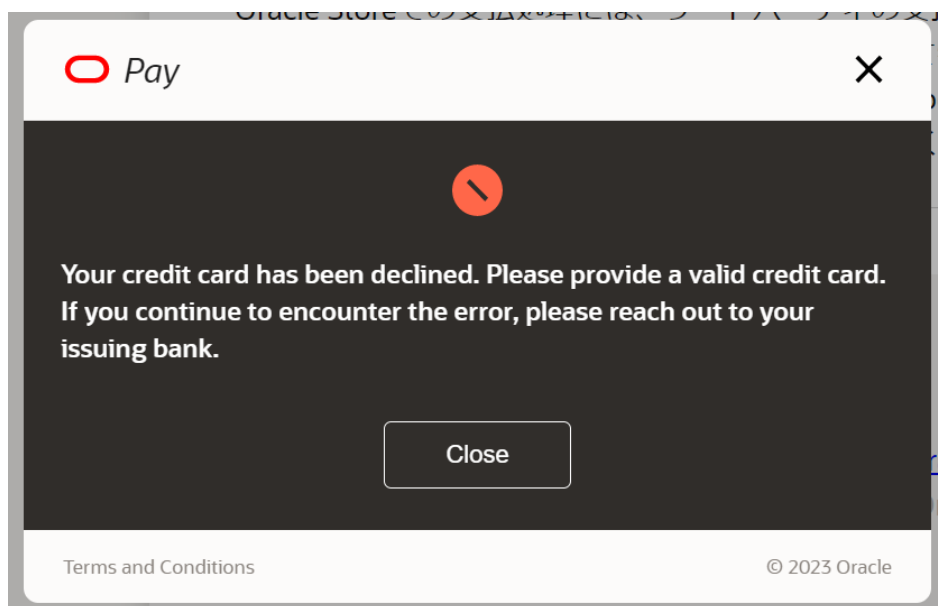
The screenshot shows a web interface with a sidebar on the left containing two expandable sections: '住所情報' (Address Information) and '支払検証' (Payment Verification). The '支払検証' section is expanded, displaying a message: 'アカウントのアップグレードを選択しない場合、請求は発生しません。' (If you do not select an account upgrade, no charges will occur). Below this, it states: 'ご使用の支払方法で小額の一時的請求が表示される可能性があります。これは自動的に削除される信用照会です。詳細は、[「FAQ」](#)を参照してください。' (You may see a small temporary charge on your payment method. This is an automatic credit check that will be deleted. For details, see [「FAQ」](#)). A dark button labeled '支払検証方法の追加' (Add Payment Method) is visible. At the bottom, a paragraph explains that Oracle Store uses CyberSource for payment processing and provides a link to the CyberSource privacy policy: <http://www.cybersource.com/privacy>.

11. [Credit Card]ボタンをクリックします。あなたの情報と支払いの詳細を入力してください。



The first screenshot shows a 'Pay' modal window for the 'Oracle Cloud Free Tier'. It has a 'Verification Method' section with a 'Credit Card' button. A red 'Required' label is next to the section header. The second screenshot shows the same modal after successful payment, with a green background, a white checkmark icon, and the text 'Thank you!'. A 'Close' button is at the bottom. Both modals have a 'Terms and Conditions' link at the bottom left. The second modal also includes a copyright notice '© 2023 Oracle' at the bottom right.

※クレジットカードが正しく入力されていなかったり、クレジットカード会社が不正利用を防止するためカード利用の制限を行うと以下のような画面が出ます。



12. お支払いの確認が完了したら。チェックボックスをクリックして、契約を確認して同意します。[無料トライアルの開始]ボタンをクリックします。





※「無料トライアルの開始」を押した後、エラーになる場合があります。

#### 🔴 トランザクションの処理中にエラーが発生しました

サインアップを完了できません。よくあるサインアップ・エラーの原因は次のとおりです: (a) プリペイド・カードを使用した。受け入れられるのはクレジットカードとデビット・カードのみです。 (b) 意図的に、または意図せずユーザーの所在地またはアイデンティティを隠蔽した。 (c) 不完全または不正確なアカウント詳細を入力した。これが当てはまる場合は、[再試行](#)してください。当てはまらない場合は、[Oracleカスタマ・サービス](#)に連絡してください。

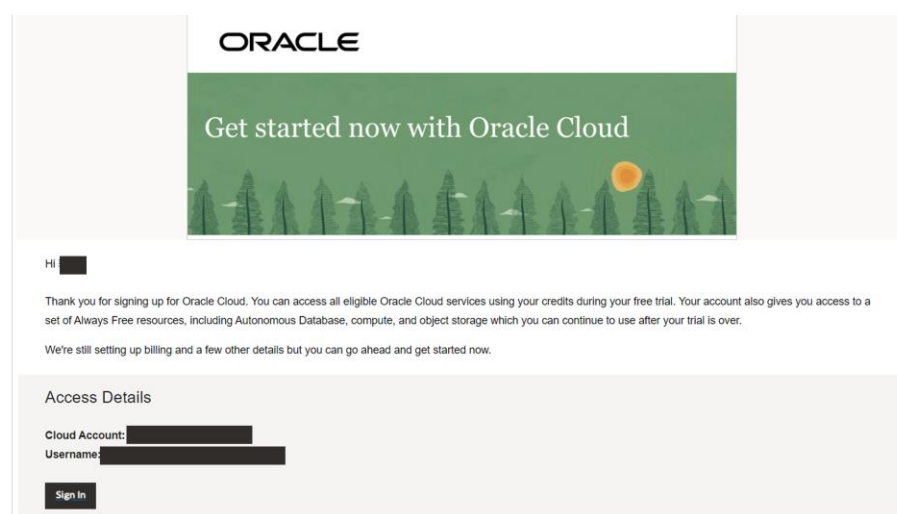
Oracle Storeでの支払処理には、サードパーティの支払処理業者であるCyberSourceが使用されます。CyberSourceは、支払処理の一環として特定の情報を要求し、収集します。収集されるデータに適用可能な条件については、CyberSourceのプライバシーに関する文書を<http://www.cybersource.com/privacy>で参照してください。

対策として、次の操作が挙げられます。

- ・ ブラウザの変更
- ・ ブラウザのキャッシュをクリアにする
- ・ PC からではなくスマートフォンなど違う端末から入力する

それでも解決しない場合、Oracle カスタマサービスまでご連絡ください。

13. テナンスにサービスがプロビジョニングされると、Oracle Cloud Infrastructure コンソールにリダイレクトされます。Oracle Cloud Infrastructure コンソールを使用して、サービスのインスタンスを作成します。アカウントの詳細が記載されたようこそ(スタート・ガイド)電子メールも送信されます。



## STEP 2: Sign in to Your Account アカウントにサインインする

Oracle Cloud からサインアウトした場合は、次の手順を使用して再度サインインします。

1. <https://www.oracle.com/jp/cloud/>にアクセスし、「Oracle Cloud にサインイン」ボタンをクリックします。



2. クラウドアカウント名を入力し、[次に進む]をクリックします。これは、前のセッションでアカウントを作成するときに選択した名前です。それはあなたのメールアドレスではありません。名前を忘れた場合は、確認メールをご覧ください。



3. クラウドアカウントの資格情報を入力し、[サイン・イン]をクリックします。ユーザー名はあなたのメールアドレスです。パスワードは、アカウントにサインアップしたときに選択したものです。



クラウド・インフラストラクチャ

**ORACLE Cloud**

クラウドアカウント名

Oracle Cloudアカウントのサインイン

ドメイン ⓘ  
Default

ユーザー名  
ユーザー名または電子メール

パスワード  
パスワード

[Forgot Password?](#)

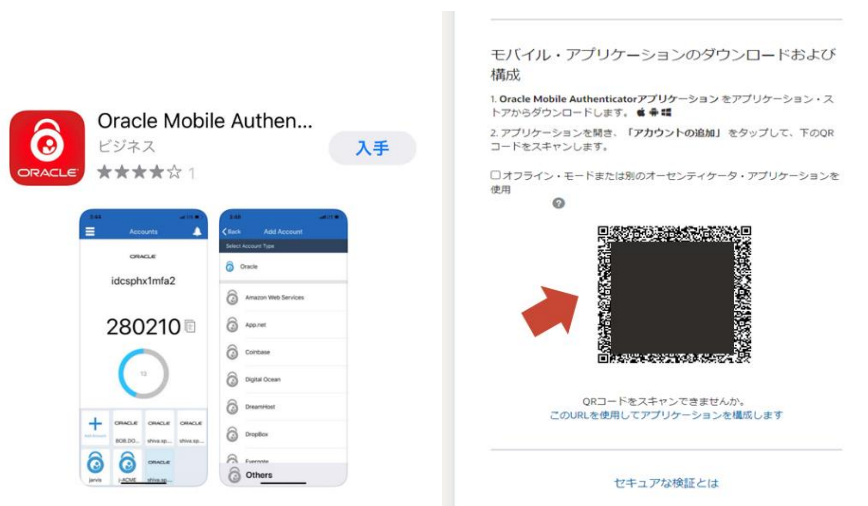
**サイン・イン**

[サインインにお困りですか。](#)

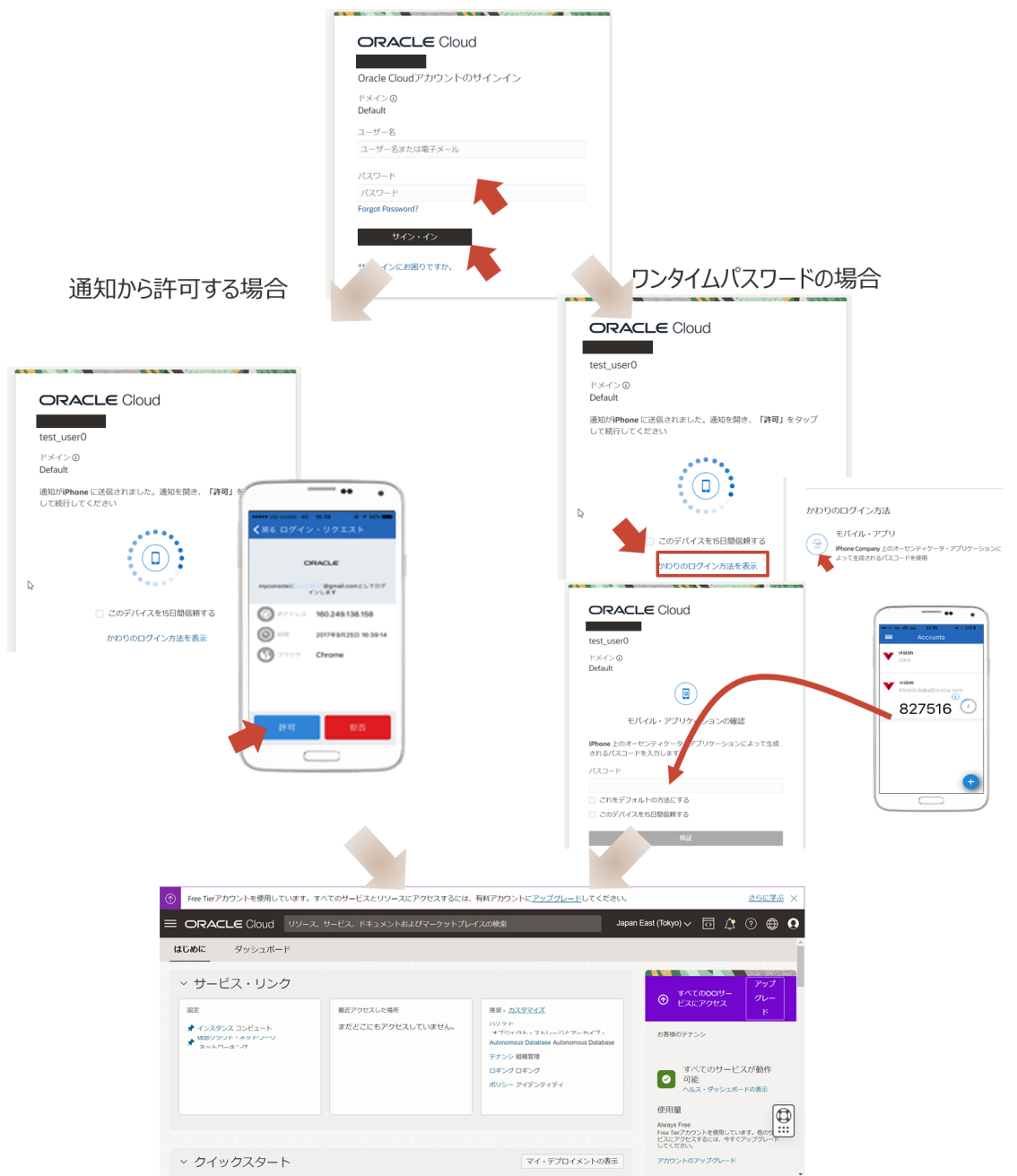
#### 4. MFA 登録をします。(2023 年 06 月より MFA がデフォルトで有効になりました)



#### 5. モバイル端末に Oracle Mobile Authenticator or それ以外のモバイルアプリ (Google Authenticator 等) をインストールし、QR コードを読み取ります。



6. 完了を押すとログインできます。二回目以降のログインは以下になります。



これで、OracleCloud にサインインしました！

次のラボに進むことができます。

- [Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう](#)
- [Autonomous Database ハンズオンラボ](#)
- [Welcome to Oracle LiveLabs!](#)

## 参考情報

トライアル環境お申し込み後の使用方法については、以下資料をご参照下さい。 \_  
なお、サービスのアップデートに伴い、実際の画面や操作がガイドと異なる場合がございますので、その点、ご了承ください。 \_

- **全サービス共通**

- [Oracle Cloud ドキュメント](#)

各サービスのドキュメント、チュートリアル等のリソースはこちらです。

- **Oracle Cloud Infrastructure**

- [Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう](#)
- [Autonomous Database ハンズオンラボ](#)

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のコンピュート・インスタンスの作成からストレージ操作、データベース・サービス作成など、基本的な操作をひとつお触り触って学習することができるチュートリアルです。 \_

- **Oracle LiveLabs**

- [Welcome to Oracle LiveLabs!](#)

Oracle LiveLabsを使用すると、オラクルのツールとテクノロジーにアクセスして、さまざまなラボやワークショップを実行できます。

オラクルの最高のテクノロジーをライブで体験してください！

- **Architecture Center**

- [Oracle Cloud Infrastructure Architecture Center](#)

特定のビジネス・シナリオのITトポロジの設計および実装に関する参照アーキテクチャ、ソリューション・プレイブックなどがあります。

- **その他**

サービス概要および導入事例などの各種情報を以下よりご確認いただけます。

- [Oracle Cloud PaaS/IaaS 情報サイト](#)
- [Oracle Cloud 無料トライアルに関するよくある質問\(FAQ\)](#)



## 無断転載を禁ず

以上の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント(確約)するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。 \_

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。 \_文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。 \_